

令和7年度 学びのスパイラルアップ

…令和7年度の重点項目

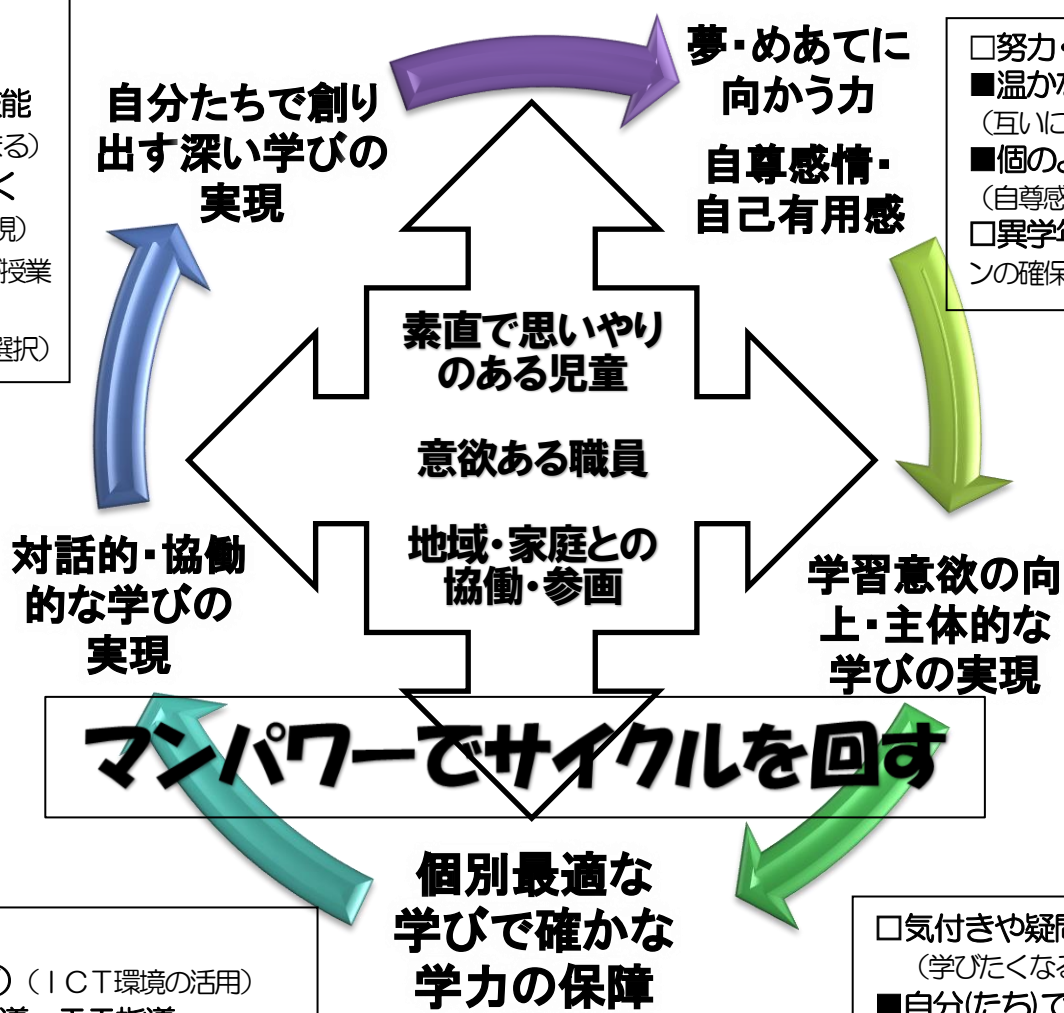
- 相手意識を持たせた情報発信
(思いも伝える)
- 表現(Output)することで知識・技能を確かにする(使うことで理解が深まる)
- 活用・発揮することで、生きて働く知識・技能をめざす(深い学びの実現)
- 自分たちで学びを創り出す(児童が授業の主役になる場面を創る)
- 学習の個性化(まとめ方・表現の自己選択)

- まずは考えを持たせる(選択的発問や小刻みなノート発問等の活用)
- 多面的・多角的に考える習慣
(いろいろな視点からのアプローチ)
- 多様な考えを交流させる(話し合いで考えを比較・検討・類型化・構造化させる)
- 学び合い・教え合いから答えを見出す対話的・協働的な学びの
(児童が授業の主役になる場面を創る)

- 誰も取り残さない学力保障
- 指導の個別化(個別最適な学び)(ICT環境の活用)
- 最後まで見届けて伸ばす個別指導・TT指導
(休み時間や放課後の活用)
- 授業と連動した家庭学習
(資質・能力の向上、反転授業への活用)

- 努力・挑戦のエネルギー源(自尊感情・自己有用感)
- 温かな学級経営で育む心
(互いに認め合い、支え合い、全員に心の居場所を)
- 個のよさを認める声かけ
(自尊感情を学習意欲に昇華させる)
- 異学年交流の推進(心を伝え合うコミュニケーションの確保・少子化対策・幼保小中連携)

学びのスパイラルアップ
「育てたい資質・能力」の達成に向けて、主に授業や学習での展開を想定して策定した学びの設計図。令和の時代に求められる主体的・対話的で深い学びや個別最適な学び、協働的な学び等を関連的・連動的・効果的に推進できるように構成した経営構想である



鶴岡市立西郷小学校